

校章について



「櫛」とは、「靈妙」の意をもち、「魔よけ」つまり災害から身を守ってくれるものとされている。町名であった「櫛引」の「櫛」の字を念頭におき初代佐藤忠一校長のもと、齋藤求先生のデザインによって昭和32年4月1日に制定された。

そのデザインは、子どもたちが「櫛引」の大地に生まれ、地域に見守られながら、自立をめざして進んでいく様を表している。

生徒には、いろいろな個性の生徒が集まって櫛中になっていることを、また教職員には、生徒の個性・特性に応じた教育の大切さや温かさの中に厳しさのある指導の大切さを導き示している。

校旗について

校旗が樹立されたのは昭和37年である。

赤地に校章が刺繍されていた。

その後、副校旗が昭和45年に卒業生から贈られた。

現在の校旗は平成19年の創立50周年

記念事業の一環で同窓会より寄贈

されたものである。青地に校章が刺繍

されている。



スクールカラー

櫛引の里に広がる空の色を表す蒼色あお（スカイブルー）

校舎について

櫛引中学校の校舎は、昭和33年に建設された。木造二階建て一部コンクリート造りであった。しかし、老朽化が進み平成になって新築の声が高まった。

現在の校舎は、平成10年に着工し、校舎は平成11年に入校式、

平成12年に体育館の完成、13年に竣工式を行った校舎である

わ自あ名由
れ覚らに緒
らした負も
すてないゆ
す るてか
ま腕 し
んか世栄
 た紀え櫛
わくの来引
れく使しの
らみ命郷
の
櫛引中
学
校

わひ清澄瀬
れたらみ音
らすなと高
きらるお鳴
たに るり
え 心
んたを流赤
 ゆみれ川
わむがはの
れこきた
らと え
のな ず
櫛引中
学
校

わ若ほ雲永
れきがは久
ら日られな
はのかてる
げ に す
ま希 さが
ん望胸やた
 にをか
わもはに
れえりそ月
らてつび山
の つゆの
櫛引中
学
校

作曲 齋藤鉉吉
作詞 鈴木敬治

櫛引中学校校歌